

内水ハザードマップ

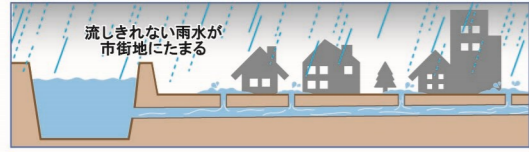
(下水道計画区域内)

9 山手・津之郷・赤坂・西・明王台・光・瀬戸・霞地区

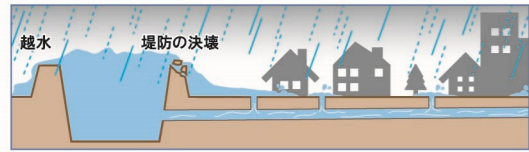
内水ハザードマップは、想定最大規模の雨が降った場合に、内水氾濫が想定される区域や浸水の深さ、緊急避難場所などの情報を示しており、市民の皆さんに日頃からの備えや対策、避難ルートの確認など、事前の準備を心掛けていただくために作成したものです。想定最大規模の雨とは、1時間当たり130mmの雨としています。実際の降雨状況により浸水が発生する場所や浸水深さが異なる場合がありますのでご注意ください。

ハザードマップの使い分け

内水ハザードマップ



水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)



福山市では他に津波ハザードマップ・防災重点ため池ハザードマップ・地震防災マップがあります。併せて確認しましょう。

内水氾濫の発生は、避難情報の発令では間に合わないことがあります。気象情報や気象庁の浸水キキルを参考に自ら判断して避難行動を行いましょう。

マップに関するお問い合わせ先 福山市上下水道局 工務部 上下水道計画課 TEL : 084-928-1090 e-mail : jyougesui-keikaku@city.fukuyama.hiroshima.jp

内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について



宅地や道路に降った雨は、下水道や水路等を通して河川に排水されます。



集中豪雨に注意しよう

突発的かつ局地的な集中豪雨に備えて、ふだんから雨の様子をチェックしておきましょう。



やや強い雨 1時間に10~20mmの雨... 強い雨 1時間に20~30mmの雨... 激しい雨 1時間に30~50mmの雨... 非常に激しい雨 1時間に50~80mmの雨... 猛烈な雨 1時間に80mm以上...

災害に備える



- 災害が発生すると物資の入手が困難になるため、平常時から各自で非常持ち出し品や備蓄品を準備しておくことが必要です。いざという時に適切に避難できるよう、積極的に防災訓練に参加しましょう。

非常持ち出し品

- 持ち出し品は、リストを参考に、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。持ち出し品を入れる袋は、体に合った大きさを用意し、自分で背負うことのできる重さにしなす。離ればなれになったときのために荷物は各自のリュックに分割しておきましょう。

Table with 2 columns: 分類 (Category) and 項目 (Items). Categories include 食料品, 生活用品, 医療・衛生用品, 貴重品, 衣料品, 避難用具, ペット用具.

*リストはあくまでも参考です。()内には必要なものを追加記入するなど、各ご家庭で必要なものを準備してください。

ローリングストック(家庭での備蓄)



情報の入手方法

自動配信されるもの(PUSH型)

ふくやま防災メール 要事前登録

あらかじめ登録した連絡先へ防災情報が配信されます。福山市 防災メール 検索

電話(災害情報電話通報サービス)

携帯電話をお持ちでない方への固定電話へ、避難情報等を音声で案内します。福山市 災害情報電話 検索

ファックス 要事前登録

聴覚に障がいのある方など、ファックスにより災害時の避難情報等を文字でお知らせします。福山市 災害情報ファックス 検索

自身で情報収集するもの(PULL型)

テレビ・ラジオ

福山市のSNS

福山市では、Facebook、X、Instagram、LINEなどさまざまなSNSを活用して情報を発信しています。使いやすいものを登録してください。福山市 SNS 検索

ホームページ(防災・危機管理情報)

福山市ホームページで公開している防災情報です。緊急避難場所、ハザードマップ、防災情報などを確認することができます。福山市 防災情報 検索

キキル(危険度分布)

Diagram showing flood hazard levels (キキル) with a color-coded map and a legend for danger levels from high to low.

避難行動について

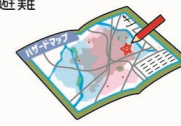
ハザードマップで自宅と避難場所を確認しましょう

- 自宅付近が浸水したときにどのくらいの水深になるかを確認しましょう。自宅から避難先までの複数の道順を、ハザードマップに書き込みましょう。鉄道や道路を渡る場所を確認しましょう。



なお、災害の状況により、開設する緊急避難場所は異なります。避難する際は、福山市ホームページ等で開設している緊急避難場所を確認してください。

- 地域などで、このハザードマップを活用した避難訓練を行い、災害時の適切な行動につなげましょう。



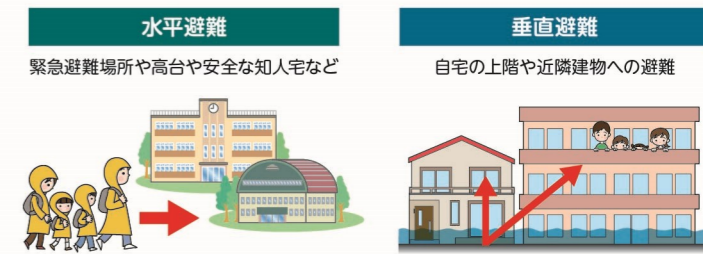
側溝や雨水ますをふさがないようにしましょう

- 雨水ますの吸い込み口が落葉やゴミで詰まると、道路浸水などの原因になります。雨水ますやL型側溝の上に車乗り入れブロックなどを置かないようにしましょう。日頃から、側溝や雨水ますを点検しましょう。



避難の考え方

- 避難情報が出る前でも、身の危険を感じる場合は安全な場所へ避難を開始してください。



警戒レベルととるべき行動

大雨時には、福山市から発令する避難情報や、気象庁から防災気象情報が発表されます。情報を正しく理解し、とるべき行動に結びつけることで、危険から身を守りましょう。

Table with 5 columns: 警戒レベル (Warning Level), 市町村 (City/Town/Village), 気象台 (Weather Station), 避難情報等 (Evacuation Information), 住民がとるべき行動 (Actions for Residents).

*2026年(令和8年)5月下旬から、上記の新たな防災気象情報の運用が開始されます。

近年の豪雨災害(平成30年7月豪雨)

2018年(平成30年)6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心とする広い範囲において、台風第7号および梅雨前線の影響により、長時間にわたる記録的な集中豪雨が発生しました。この大雨により、全国各地の観測地点で24時間、48時間、72時間降水量が観測史上1位を記録したほか、広島県や岡山県など1府10県に特別警報が発表されました。河川の氾濫や浸水害、土砂災害が各地で発生し、甚大な被害をもたらしました。



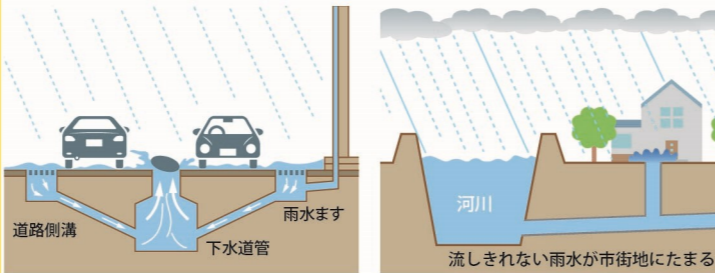
福山市の状況

- 24時間雨量238mm
48時間雨量364.5mm
72時間雨量392.5mm
※観測史上1位の降雨を記録
浸水面積：約2,000ha
床上浸水被害棟数：1,301棟(2019年1月31日時点)

内水氾濫の発生



大雨が降ると、雨水が排水できなくなり、宅地や道路の浸水が発生します。



内水ハザードマップとは？

内水氾濫によって想定される浸水区域や浸水の深さ、緊急避難場所などの情報をまとめたマップです。内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。

内水ハザードマップ

内水ハザードマップは福山市ホームページで確認ができます。

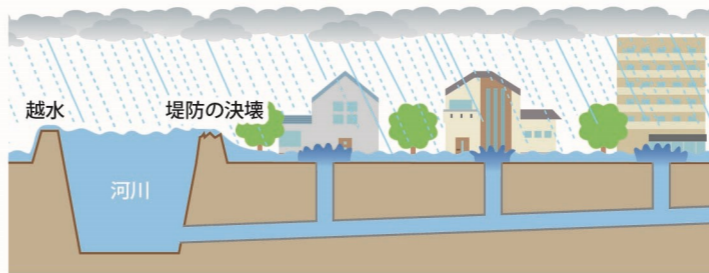
福山市 内水ハザードマップ 検索



洪水(河川氾濫)の発生



大雨が続くと、河川の堤防が決壊し、大きな被害が発生します。



水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)とは？

洪水(河川氾濫)によって想定される浸水区域や浸水の深さ、緊急避難場所などの情報をまとめたマップです。洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川の水位が高くなり、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊したりすることで、大きな被害が発生することです。

水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)

水害ハザードマップ(洪水・土砂災害)は福山市ホームページで確認ができます。

福山市 水害ハザードマップ(洪水・土砂災害) 検索

